

## 定期自主検査記録

### (総括表)

〔 一般高圧ガス保安規則適用事業所用  
定置式製造施設・移動式製造施設 〕

事業所名 .....

特定施設名 .....

記入責任者氏名 .....

定期自主検査年月日 ..... 年 月 日 ~ ..... 年 月 日

保安検査年月日 ..... 年 月 日

定期自主検査実施者 .....

## 定期自主検査の実施及び記録表作成における注意点

- 1 保安検査時に使用できる定期自主検査記録は、保安検査受検日前の1か月以内に実施したものとします。
- 2 定期自主検査を実施する際は、保安係員（保安係員を選任する必要のない事業所については保安監督者等の高圧ガスの製造に関する責任者等）が監督すること。（参考：一般高圧ガス保安規則第76条「保安係員の職務」）
- 3 定期自主検査記録表に添付する検査結果（写真資料や測定結果等）については、記録表とは別に編冊してください。（編冊の順番は「目次の番号」通り）。
- 4 各項目の検査結果は、「合」又は「否」のいずれかを塗りつぶし、該当しない場合は斜線を引いてください。（記載例参照）
- 5 検査結果に基づく措置内容等の欄は、措置等を行った場合は具体的に記入してください。また、別紙で結果を添付する場合は、その旨を記載してください。
- 6 記載欄が不足した場合は、行を追加してください。
- 7 記録表作成後はページ番号を付けて、目次の「ページ」欄にページ番号を記入してください。

## 目次(定置式)

番号	KHKS	検査項目	一般則条項 条-項-号	例示基準等	ページ
1	1.1	境界線・警戒標	6-1-1/42 イ	1	
2	1.2	可燃性ガスの貯槽であることが容易にわかる措置	6-1-6	4	
3	1.3	バルブ等の操作に係る適切な措置	6-1-41	33	
4	1.4	毒性ガスの識別措置・危険標識	6-1-33	25	
5	2.1	保安距離・施設レイアウト	6-1-2/42 ハ・ニ	22	
6	2.2	設備間距離	6-1-4/5	3	
7	2.3	火気取扱施設までの距離	6-1-3	2	
8	2.4	防液堤内外の設備設置規制	6-1-8	細目告示 2	
9	2.5	滞留しない構造	6-1-9/42 ヘ	6	
10	2.6	直射日光を遮るための措置	6-1-42 ホ	34	
11	2.7	ジシラン等の自然発火に対し安全な構造	6-1-42 ト	36	
12	2.8	二階建容器置場の構造	6-1-42 リ	細目告示 1 の 6	
13	3.1/3.2	高圧ガス設備の基礎	6-1-15/17	10/耐震告示	
14	3.3	貯槽の沈下状況測定	6-1-16	11	
15	4.1	ガス設備(高圧ガス設備を除く)の気密構造	6-1-10	—	
16	4.2	ガス設備に使用する材料	6-1-14	9	
17	4.3	高圧ガス設備の耐圧性能及び強度	6-1-11/13	7/8	
18	4.3	高圧ガス設備の気密性能	6-1-12	7	
19	5.1.1	温度計	6-1-18	12	
20	5.1.2	圧力計	6-1-19	13	
21	5.1.3	液面計	6-1-22	16	
22	5.2.1	電気設備の防爆構造	6-1-26	防爆指針	
23	5.2.2	保安電力等	6-1-27	20	
24	5.2.3	静電気除去措置	6-1-38	30	
25	6.1	常用の温度の範囲に戻す措置	6-1-18	12	
26	6.2/6.3	安全装置・放出管	6-1-19/20	13/14	
27	6.4	貯槽の温度上昇防止措置	6-1-32	24	
28	6.5	負圧防止措置	6-1-21	15	
29	6.6	液化ガスの流出防止措置	6-1-7	5	

番号	KHKS	検査項目	一般則条項 条-項-号	例示基準等	ページ
30	6.7	不活性ガス置換構造	6-1-23	17	
31	6.8/6.9	毒性ガス配管等の接合、毒性 ガス配管の二重管等	6-1-35/36	26/27	
32	6.10	貯槽の配管に設けたバルブ	6-1-24	18	
33	6.11	緊急遮断装置	6-1-25	19	
34	6.12	除害のための措置	6-1-37/42チ	28/29	
35	6.13	ガス漏えい検知警報設備	6-1-31	23	
36	6.14	防消火設備	6-1-39 39の2/42ヌ	31	
37	6.15	アセチレン容器等の破裂防止措置	6-1-28/28の2	21/21の2	
38	6.16	圧縮機とアセチレン・圧縮ガ ス充填場所等間の障壁	6-1-29/30	22	
39	6.17	通報措置	6-1-40	32	
40	7	導管	6-1-43	37～41	

## 目次(移動式)

番号	KHKS	検査項目	一般則条項 条-項-号	例示基準等	ページ
1	8.1	製造施設の付近の状況	8-1-1	—	
2	8.2	警戒標	8-1-2	1	
3	8.3	耐圧性能及び強度・気密性能	8-1-3	7/8	
4	8.4	消火設備	8-1-4	31	
—	8.5	容器置場関係	8-1-5	—	
5		警戒標	6-1-42イ	1	
6		保安距離	6-1-42ハ	—	
7		滞留しない構造	6-1-42ヘ	6	
8		直射日光を遮る措置	6-1-42ホ	34/35	
9		ジシラン等の自然発火に対し安全な構造	6-1-42ト	36	
10		除害のための措置	6-1-42チ	28/29	
11		消火設備	6-1-42ヌ	31	